

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	<p>前回の【49生涯学習】での修正。 P161博物館の欄・の2つ目、「プチ工房での職員の増員を図る」とあるが、充実を図るに訂正をお願いしたい。 一番最後の、細かい修繕の中身があったが「来館者の利便性を高める」に表現を修正させていただいた。</p> <p>【51 スポーツ】2週目</p>
牛島委員	スポーツについて、説明を受け協議していきたいと思います。
大場主幹	<p>※別紙スポーツに係る資料を基に説明 ①3行目の「体力が低下している子ども」を追加。</p>
伊藤委員	<p>⑤の一番最後のスポーツ合宿だが、経済団体と行政の連携によりとあるが単位団体も含まれるのではないか。 単位団体の意向を踏まえてのスポーツ合宿という言い方をしていたと思うが。</p>
浅野主査	単位団体と行政に経済団体がどう関わるか表現は変えた方が良くと思う。
伊藤委員	スポーツ合宿を誘致するなら宿泊施設や食事が無ければ美幌での受け入れは難しい。
牧野委員	宿泊が伴わない大会なら開催出来る。
伊藤委員	体育団体の思いが強くて、それで合宿誘致をしてきたので、町が単独で誘致するというのは難しいと思う。スポーツ合宿をやっている他市町村と連携協力をするような言葉を入れておいた方がいいのでは。
浅野主査	美幌の練習環境は良いと言われているのが、どこまで誘致するか。広域的な連携をとって交流試合を美幌やらせたらどうか、競技団体や広域的に連携をしていかないと単独では難しい。
石澤委員	宿泊もどんどん客が来ないと、ホテルも建たないと思う。合宿誘致はどんどん行うべき。町が主体となって推し進める勢いで、今ある宿泊施設に手一杯入れる位でやっていかなければ。
牛島委員	前回の皆さんからいただいた意見からは少し弱いと感じる。「積極的に」の文言を盛り込めたら良い。
石澤委員	パークゴルフ場だが、新設とあるが現計画に疑問がある。維持管理費などもあのままですまないとも聞いている。声を上げて議会にも言おうと思っている。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
伊藤委員	河川敷にあるものを河川敷にまた作るのはどうなのか。スカイスポーツは町であれだけお金を掛けて推し進めていた事業なのに、知らないうちになくしていくのはどうなのか。
高木部長	スカイスポーツはスポーツ団体という位置づけではなく地域振興という観点だった。所管は経済部商工観光である。
伊藤委員	説明もないままパークゴルフ場になってしまうのはよく分からない。
牧野委員	基本計画に反映されるのであれば、このパークゴルフ場の項目に限っては、この会議で良しとしなければ計画に載せるべきではない。載せるのであれば、新設という表現ではなく、充実を図る程度でなければ、この会議で認めたということになってしまう。
木村委員	必要なのどうなのかの意見を求めるべきなのでは。周りからもこれがほしいという意見を耳にしない。今ある施設を充実するでいいのではとの意見が多い。公約だからと言って進めていいのか。パブリックコメントだけではなく、利用者などを集めて必要なのどうあるべきなのか話し合いの場を設けるべきなのでは。それでもどうしてもここに載せるというのなら、私は辞めます。
高木部長	平成10年、11年にパークゴルフ場を作ってほしいという話があって、場所を選定しきれなく断念した経過がある。その後平成19年に現町長が就任し公約として基金を設置した。新設は用地の取得が難しいということで、現パークゴルフ場より上の方へ、水が付きづらいという事で、その場所になった。駐車場も近いということもあった。大正橋の所での車の事故の心配も無くなる。維持費については現在体育協会に委託しているが、ホール数も増えるので、若干高くなる。現行のパークゴルフ場は今のところ閉鎖する方向で考えている。
木村委員	水がついたときにどのくらい経費がかかるかといったものはあるか。
大場主幹	詳しいものまでは今ないが、平成4年に水がついたときに、北中の裏の災害復旧をしたが、土砂の撤去にお金がかかる。芝の復旧に2年から3年ほどかかることになる。
石澤委員	今の案が進んで完成したら、町はパークゴルフをどんどん推していくのか。
木村委員	スカイスポーツはカントリーサインにまでなっているのに、それをなくしてパークゴルフを推進していくのか。
高木部長	公認コースをとるので協会も大会をやっていく。競技性を高めるということもあるかもしれないが健康づくりという点でも効果がある。
石澤委員	本当に今後パークゴルフを町として推していくというなら、特化して促進していくくらいの気持ちで書いていくべきではないか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	スポーツについては、多種多様な目的でいろいろな人がいると思うが、求めるニーズに沿った整備がされることになる。
牧野委員	「移転・新設」は町長が進めていることなので、どうしようもないと思うが、この基本計画に掲載する内容はなんとかできると思うので、「移転・新設」ではなく、「パークゴルフ場の充実を図り」くらいに留めてくれないと、止めた方がいいという意見もあるので、この書き方では会議での意に反している。
牛島委員	「移転・新設」ではなく「整備・検討」という言葉で整理させていただく。
浅野主査	⑤の生涯スポーツの振興のスポーツ振興体制の充実と指導者派遣による体力づくりはまとめた方が整理しやすいのでは。誰でも参加できる体制を構築の表現を検討しては。 子どもの体力向上は指導体制の構築とはどういうものなのか。
村田主事	道でも子どもの体力低下に取り組みについて、学校や保育園など連携を取って行っている。美幌町でも特性を持った体力向上の何か取り組みをまだ明確ではないが考えている。
浅野主査	幼稚園から一貫した指導体制ではなく、幼児からの体力向上への取り組みが小学校中学校の体力向上に繋がるという意味であれば、もう少しわかりやすく表現に変えた方がよいのでは。 ⑤のスポーツ活動の促進はアスリートの育成は競技スポーツの技術力向上にはいつてくるのではないか。 施設の整備でスケートリンクの陳情などで整備について入れ込まなくても良いのか。
大場主査	個別の整備項目なので、全体的な既存施設の維持更新に含めて整備していくという部分に含めていく。
浅野主査	町の特徴を持って冬のスポーツ競技に特化して行くかどうかということもあるかと思う。また、プレイルームやサブアリーナ、バリアフリー化など施設の利便性を高めていくことも陳情要望に含めて整理したらよいと思う
牛島委員	文言を整理していくことでお願いしたい。
	【52 青少年】2週目
牛島委員	青少年について、協議していきたいと思います。
荒井主幹	※別紙青少年に係る資料を基に説明
浅野主査	⑤の青少年の健全育成推進体制の充実の取り組みCは体制を強化する事には触れなくて良いのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
高木部長	「現状把握に努め連携を強化します」と文言を変更。
牧野委員	コミュニティスクールの活動促進とあるが、生涯学習にもコミスクの表現がある。若干表現が違うが、視点によって取り組みが違うのか。
那須主幹	コミュニティスクールは生涯学習とダブっているので事務局で整理していく。
安井委員	コミュニティスクール自体を分からない学校保護者が多い。
牛島委員	コミュニティスクールの取り組みについては、機会があればどんどん啓蒙啓発をして行くことが大切。